

全国手話研修センター後援会NEWS 2021-vol.3

☆寄附金目録贈呈☆

去る2月26（土）の全国手話研修センター評議員会の場で後援会から研修センターへの寄付（目録）の贈呈を行いました。寄付金は、皆様のおかげで今年度も昨年度と同額の200万円を寄附することができました。

会議の冒頭に全国手話研修センターの黒崎理事長と清田後援会会長が登壇。黒崎理事長から感謝のことば（※）をいただきました。

（※）「後援会から200万円のご寄附をいただきました。この200万円の中には全国の仲間の期待とこれからのいろいろなご支援の気持ちが込められていると思います。本当にありがたいと思っております。」



長い新型コロナウイルスとの戦いが続いておりますが、皆様のご支援のおかげで、毎年、寄附ができています。今後も研修センターを応援していきます！



☆研修センターの現在の状況☆

2021（令和3）年度全国手話研修センター拠点の決算見込みは、16,527千円の黒字です。しかしながら、就労支援センターとも拠点は、収支1,337千円の赤字。全国手話検定試験は会場で試験を受けた人が4,000人超、インターネットでの受験は1,000人超、団体試験が600～700人ですので合計しても6,000人超えて7,243千円の赤字です。亀岡市生活相談支援センターは最終的には収支トントンになる予定で、法人全体としては7,947千円の黒字見込みです。

昨年に比べるとコロナが増えたり減ったりしましたが、活動状況は2020年に比べると良くなってきています。手話通訳士試験対策研修は、手話通訳者・士現任研修とともに、WEBでの研修は好評を得ており、遠くて研修会に参加できない、お金がない、時間がない方が自宅で勉強できるので、申し込みが急増しました。手話通訳者全国统一試験は12月に1,444名が受験し、合格者は295名となりました。

今年度は手話奉仕員養成事業・手話通訳者養成事業について行政にアンケート調査を実施しました。又、登録手話通訳者の皆様にもアンケートを実施し、3,093人から回答が返ってきました。これらを整理し、来年度厚生労働省の障害者総合福祉推進事業を活用し、養成カリキュラムの見直し事業を実施する予定です。若年層の手話通訳者養成モデル事業は徐々に参加者が増え始めており、2021年度の手話コミュニケーション講座は22人の学生が受け、龍谷大学生だけではなく、京都の6大学からも受講しています。

手話通訳講座は6人が受講し、昨年度手話コミュニケーション講座を受けた4人が手話通訳講座を受講しました。2022年度4月から長崎純心大学、山口県立大学、東北福祉大学で長崎・山口・宮城の各協会の協力をもらって開講します。



入会状況(2022年3月末現在)

	都道府県	合計	ろう者	聞こえる人	目標	進捗
北海道	北海道	208	88	120	510	40.8%
東北	青森県	65	38	27	140	46.4%
	岩手県	18	11	7	100	18.0%
	宮城県	10	8	2	160	6.3%
	秋田県	28	11	17	70	40.0%
	山形県	18	15	3	90	20.0%
	福島県	187	103	84	200	93.5%
	計	326	186	140	760	42.9%
関東	茨城県	10	9	1	130	7.7%
	栃木県	85	51	34	160	53.1%
	群馬県	70	57	13	200	35.0%
	埼玉県	104	43	61	610	17.0%
	千葉県	140	43	97	280	50.0%
	東京都	79	49	30	750	10.5%
	神奈川県	38	19	19	390	9.7%
	山梨県	100	51	49	100	100.0%
	計	626	322	304	2,620	23.9%
北信越	新潟県	27	4	23	140	19.3%
	長野県	18	2	16	170	10.6%
	富山県	66	25	41	120	55.0%
	石川県	57	25	32	160	35.6%
	福井県	13	7	6	60	21.7%
計	181	63	118	650	27.8%	
東海	岐阜県	44	9	35	150	29.3%
	静岡県	241	106	135	340	70.9%
	愛知県	133	59	74	520	25.6%
	三重県	51	28	23	190	26.8%
	計	469	202	267	1,200	39.1%
近畿	滋賀県	34	10	24	170	20.0%
	京都府	155	41	114	330	47.0%
	大阪府	210	152	58	750	28.0%
	兵庫県	99	53	46	430	23.0%
	奈良県	157	80	77	140	112.1%
	和歌山県	76	55	21	130	58.5%
計	731	391	340	1,950	37.5%	
中国	鳥取県	109	39	70	60	181.7%
	島根県	20	7	13	70	28.6%
	岡山県	69	22	47	190	36.3%
	広島県	197	78	119	280	70.4%
	山口県	37	1	36	110	33.6%
	計	432	147	285	710	60.8%
四国	徳島県	19	3	16	40	47.5%
	香川県	64	24	40	100	64.0%
	愛媛県	77	14	63	120	64.2%
	高知県	64	27	37	90	71.1%
	計	224	68	156	350	64.0%
九州	福岡県	40	8	32	450	8.9%
	佐賀県	11	1	10	50	22.0%
	長崎県	64	15	49	190	33.7%
	熊本県	47	12	35	140	33.6%
	大分県	15	0	15	160	9.4%
	宮崎県	4	2	2	100	4.0%
	鹿児島県	42	24	18	80	52.5%
	沖縄県	2	0	2	80	2.5%
計	225	62	163	1,250	18.0%	
合計		3,422	1,529	1,893	10,000	34.2%

研修センターからのお知らせ

「Let's 手話 for キッズ」



小学生以上を対象としたパソコンやスマホ、タブレットで手話を学べる教材が昨年秋にできました。映像を見て学び、試験もあります。手話が初めての方も楽しく学べます。

まずは

レッツ手話キッズ



で検索♪



日本手話研究所からのお知らせ

今回の特集は、「目で聴くテレビ」の歴史とそれにまつわる課題をまとめています。執筆者が阪神・淡路大震災で「情報はいのち」であると実感したことをきっかけに、当時世界ろう連盟理事でもあった高田英一氏が呼び掛け、障害者放送通信機構が発足されました。字幕世界基準が作られた過程をご覧ください。

2月17日発売！

定価 2,000円(税込)

ご注文はこちらから↓



前号(12/20号)について、表面の鳥取県の後援会活動の取り組みについて記載しておりましたが、全国手話通訳問題研究会鳥取支部の略称について誤りがございました。
 ×→鳥通研
 ○→全通研鳥取支部
 関係者の方々には大変不快な思いをさせていただきました。ここに訂正してお詫び申し上げます。

〒616-8372

京都市右京区嵯峨天龍寺広道町3番地の4
 社会福祉法人全国手話研修センター後援会
 TEL: 075-873-2646 FAX: 075-873-2647